

令和3年度事業報告書

(期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)



目 次

◆社会福祉法人虹の会 総括	2
◆法人運営	2
◆委員会活動	6
◆行政監査の結果	8
◆事業の開始及び廃止・大規模修繕等・法人研修	9
◆苦情および事故発生・他	11
◆職員の状況	14
◆事業所の状況	16
◆地域における公益的な取組の状況	18
◆財務ハイライト	18
◆経営分析参考指標	19
◆各事業部ごとの報告	20
本部事務局	21
事務センター	23
第1通所事業部	
(アイリス、マーブル、ハーモニー、大地)	24
第2通所事業部	
(ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)	25
生活支援事業部	
(ひまわり生活の家、という、わになろう、計画相談支援センター虹)	26
相談支援事業部	
(高島市障がい者相談支援センターコンパス、就労準備支援事業ホップ)	27

※令和3年度社会福祉法人虹の会事業報告については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していません。

社会福祉法人 虹の会

◆総括

第2期中期経営計画の初年度でもあり、前期の課題を抱えながら3年度のあるべき姿「選ばれる法人・選ばれる事業所」に向けて進めていくためにも、4つの経営戦略に基づき重点項目に沿った具体的な取り組みを進めてきました。特に本年は利用者や家族からも「親亡き後」という形で要望があった多機能型グループホーム「といろ」を開所し当法人で初めての24時間体制で日中サービス支援型ホームと短期入所の事業をスタートしました。不安な部分もありましたが、関係機関の指導のもと家族や職員各位の理解・協力を得ながら無事1年が経過しました。

近年市内でも特色のある多くの事業所ができオンリーワンのサービスを展開しています。その中でも、まだまだ狭間に居る方が多いことを知り、当法人で何か共有できるものはないかとの思いから「虹カフェ」の継続とともに令和3年度より動きかけたミズカフェココを活用した新たな居場所やこのこの活動を通して生きづらさ・暮らしづらさで悩んでいる方の居場所として、またできれば次のステップへの場所としての拠点づくりを始めました。

まだまだ新型コロナウイルス感染症の渦中ではありますが、役職員がともに研鑽を重ね利用者の思いを的確につかみながら第2期中期経営計画の達成に努めます。

◆法人運営

(1) 適切で透明性の高い法人経営を推進するため、経営の決断・執行・監督の充実に努め、以下の役員会等を開催しました。

◎理事会

回	開催日	議案	可否	理事及び監事の出席率
1回	6月3日	定款一部変更 評議員選任・解任委員会報酬 令和2年度事業報告書、計算関係書類及び財産目録の承認・監査報告 令和3年度補正予算書 理事及び監事任期満了に伴う候補者推薦 評議員選任候補者推薦 令和3年度定時評議員会招集 令和3年度第2回評議員選任・解任委員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	100%

2回	6月19日	理事長選定 業務執行理事選定 理事長報酬 職員理事報酬	可決 可決 可決 可決	100%
3回	11月4日	令和2年度第20号議案内部管理体制の基本方針の 制定継続審議 定款施行細則一部変更 コンプライアンス規程制定 監事監査実施規程制定 令和3年度補正予算書	可決 可決 可決 可決 可決	100%
4回	1月20日	土地および建物遺贈受入 定款一部変更 定款施行細則一部変更 会社役員賠償保険契約 施設長等の選任 令和3年度第2回評議員会招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決	100%
5回	3月17日	計画相談支援センター虹（障害児相談支援事業） 指定申請 計画相談支援センター虹（自立生活援助事業）指定 申請 わになろう（訪問介護事業（共生型））指定申請 定款一部変更 ハラスメント防止規程一部変更 就業規則一部変更 給与等支給規則一部変更 育児休業及び介護休業に関する規則一部変更 令和3年度補正予算書 令和4年度事業計画 令和4年度収支予算書（令和4年4月1日から令和5 年3月31日まで） 令和3年度評議員会（臨時）招集	可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決 可決	100%

※当法人は、社会福祉法人会計基準により公表すべき関連当事者間の取引はありません。

●決議の省略

理事会の目的である事項について、社会福祉法第45条の14第9項により準用される一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第27条第2項の規定に基づき、理事会を開催することなく、以下の提案事項につき決議の省略を行いました。

回	開催日	議案	可否
1回	5月21日	定款一部変更 評議員選任・解任委員選任 評議員選任・解任委員会招集	同意 同意 同意

◎評議員会

回	開催日	議案	可否	評議員出席率
1回	6月19日	定款変更 令和2年度事業報告書、計算書類及び財産目録承認 理事及び監事任期満了に伴う選任	可決 可決 可決	75%
2回	3月28日	定款一部変更 令和3年度補正予算書 令和4年度事業計画および令和4年度収支予算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）	可決 可決 可決	87.5%

●決議の省略

評議員会の決議の目的である事項について、社会福祉法第45条の9において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項の規定および定款第14条4項に基づき、評議員会を開催することなく、以下の提案事項につき決議の省略を行いました。

回	開催日	議案	可否
1回	2月5日	定款一部変更	同意

◎評議員選任・解任委員会

回	開催日	議案	可否	評議員出席率
1回	5月20日	評議員選任	可決	100%
2回	6月9日	次期評議員選任	可決	100%

(2) 監事監査

事業および会計の執行を監査し、その結果を報告及び公表することにより、法人の健全かつ透明性の高い運営に資することを目的に監事による監査を実施しました。

回	開催日	議題	監査意見
1回	5月26日	令和2年度事業報告・計算関係書類及び財産目録の監査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 ・計算関係書類及び財産目録については法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適性に処理、表示しているものと認めます。

2回	10月25日	令和3年度 中間監査	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等は、法令および定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ・理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 ・計算関係書類及び財産目録については法人の財産、収支及び純資産の増減の状況をすべての重要な点において適性に処理、表示しているものと認めます。
----	--------	---------------	---

助言に対する改善報告

<p>【上期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款と登記事項の相違について、理事会及び評議員会で決議後、監督官庁へ提出しました。 ・行政財産の使用認可の期日について、「法人契約管理表」にて管理する体制を整えました。 ・小口現金出納帳の管理について小口現金出納帳は現金取引のみとし、それ以外（切手等）は別ファイルで管理するように整理しました。 ・建物改修の科目残高の処理について、顧問税理士に相談後廃棄手続きを行ない、9月30日に廃棄処分しました。 <p>【下期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告書の原本に第三者委員の確認印を設けることとしました。 ・つり銭取扱規程を制定し、令和4年2月1日から施行。つり銭を取り扱う事業については申請書に基準額（必要最小限の金額）を記載し、統括会計責任者の承認を得て運用することとしました。8月、11月に小口現金とつり銭の実地調査を行いました。

（3）法人の経営方針その他経営に関する事項および人事・人事評価・給与等を協議するため、また事業所等が連携を図りスムーズな事業推進に努めるため、情報共有・現状把握・課題検討等を以下の会議で実施しました。

会議名	回数
運営委員会	25回
人事給与等委員会	4回
管理職会	21回

◆委員会活動

◎個人情報管理委員会

回数	目的	経過及び成果
2回	利用者及び職員等の個人情報の管理を適切に行うための計画立案、指示、セキュリティ対策等の必要な取り組みを行う。	6月個人情報チェックリストを実施、結果に基づき各拠点において対策を強化しました。 8月管理職向け個人情報チェックリストを実施、現状分析を行いました。 8月に全職員向けに改正個人情報保護法に関するWEB研修を実施、具体的な事例を基に身近な情報管理について知見を高めました。 また、3月には管理職向けに改正個人情報保護法の研修を実施しました。

◎虐待防止委員会

回数	目的	経過及び成果
10回	事業所内における虐待防止を図るため、職員の虐待防止意識の向上や虐待防止の取り組みを実施し、虐待のない施設環境づくりを目指す。	コロナ禍により、参集研修を各事業所での動画研修に変更しました。また、虐待防止チェックリスト、職員向け意識調査も実施しました。チェックがついた項目については事業所単位で話し合いを行いました。意識調査では、委員会の取り組みが障害者虐待防止への関心や意識の向上に繋がっている結果となりました。 新たな取り組みとして、第三者への報告会の開催や身体拘束適正化に向けた指針を作成しました。

■虐待および身体拘束の状況

- 障害者虐待防止法に基づき、虐待認定を受けた件数は0件でした。

●身体拘束の状況

事業所名	件数	内容
ドリームあんです	1件	ベンチを元にあった場所に戻そうとしたことに対し、男性利用者が激高し、職員へ暴言・暴力行動があった。興奮が収まらない利用者に対し、手を押さえ動きを制止した。
ハーモニー	4件	※4件ともに同一利用者 ハーモニー敷地外へ出て、道路への飛び出し・バイパス道路への歩行等が見られ、本人の行動を制止した。また家族の車両へ乗れなかった際に、家族・職員で本人を抱え上げた。

◎リスクマネジメント委員会

回数	目的	経過及び成果
6回	利用者の安心・安全を確保すると共に、事故防止対策・危機管理体制を構築に向けた取組を行う	事故検証を年2回行いました。事故防止や危機管理意識を高めるため、各事業所のリスクマネージャーを3回招集し、事業所単位で避難確保計画に基づいた訓練と、感染症マニュアルについて委員よりリスクマネージャーに説明し、各事業所職員に研修を依頼しました。 事故発生件数については、毎年減少している状況です。

◎既存事業改善プロジェクト

回数	目的	経過及び成果
6回	事業の課題整理及びニーズを把握し、事業整理の方向性をまとめる	課題を出し合い、どの区分で検討していくかの整理に取り組みました。法人（通所助成）・各事業所（休憩、分散している事業の集約化）・委員会（認定区分聞き取り共有、ショート送迎範囲）に区別しました。委員会担当の認定区分聞き取り共有は、担当者が集まり対応につなげています。ショート送迎範囲については、データを集め次年度、整理に取り組みます。

◎新規事業推進プロジェクト

回数	目的	経過及び成果
4回	制度・地域の動向とニーズを見極め、必要な新規事業を検討・計画する	現状と課題についてSWOT分析等により法人内外を取り巻く環境等の考察を行いました。法人の事業の方向性を全世代型サービス（縦）と全対象型サービス（横）で展開していくことの意味決定を理事会で諮りながら、新規分野の検討を行い、児童分野（放課後等デイサービス事業の事業検討の開始、計画相談支援事業での児童相談の指定申請）・介護保険分野（共生型 訪問介護サービスの指定申請）を行いました。

◎地域貢献プロジェクト

回数	目的	経過及び成果
2回	地域貢献プロジェクトを立ち上げ、ミズカフェコッコを活用した地域ニーズの把握を行い、必要とされる取り組みの企画、共生社会づくりに寄与できるような先進的な実践を検討する	5月と11月計2回のプロジェクト会議を開催。地域ニーズ把握の一環として、(一社)あすラボの代表を招き「コロナ禍でも実践できる取り組み」について学習しました。地域ニーズについては、虹カフェを活用して把握し、新たな事業「参加支援」と「アウトリーチ等を通じた継続的支援」の取り組みへとつなげることができました。

◆行政監査の結果

◎法 人：法人に対する行政監査はありませんでした。

◎事業所：令和3年10月28日「わになろう」へ滋賀県による実施指導。

【文書指摘事項】

- 特になし

【口頭指示事項】

番号	指示事項
1	従業員の資格証について、旧姓が確認できる資料を整理しておくこと。
2	重要事項説明書は利用者がサービス内容等を理解し事業所を選択するためのものであることから「契約書第〇条参照」など契約を前提とする表現を改めること。
3	サービス提供後の利用者確認について、提供の都度利用者の確認ができない（現行は月末に一括確認する様式）ため、様式を変更しサービス提供ごとに利用者の確認を受けること。

改善結果

番号	改善事項
1	従業員の資格証の氏名の変更履歴の照合については、所轄庁との協議を行い現状のまま理解を得ました。
2	指摘があった重要事項説明書の当該表現については、削除し改めました。
3	サービス提供後にその都度、利用者確認が行えるよう様式を変更しました。

◆事業の開始および廃止

◎という

指令	種別	事業所番号	有効期間
滋賀県	共同生活援助（日中サービス支援型）	2522200159	令和3年4月1日～ 令和9年3月31日
滋賀県	短期入所	2512200375	令和3年4月1日～ 令和9年3月31日

◆大規模修繕等

◎ハーモニー

工事名	ハーモニー屋根修繕工事
金額（税込み）	9,828,115円
補助金	なし
施行期間	着手 令和4年3月11日 完成 令和4年3月31日

◆法人研修（全体・階層別研修）

昨年度と同様に人権・障害者虐待防止・個人情報保護の3点を主軸に法人全体での研修を企画しています。上半期は、人権・個人情報保護についての研修を実施しました。コロナ禍の情勢を鑑み、オンラインで全職員対象に学べる機会を設け実施しました。

その他、階層別に内外研修を計画に沿って実施しました。

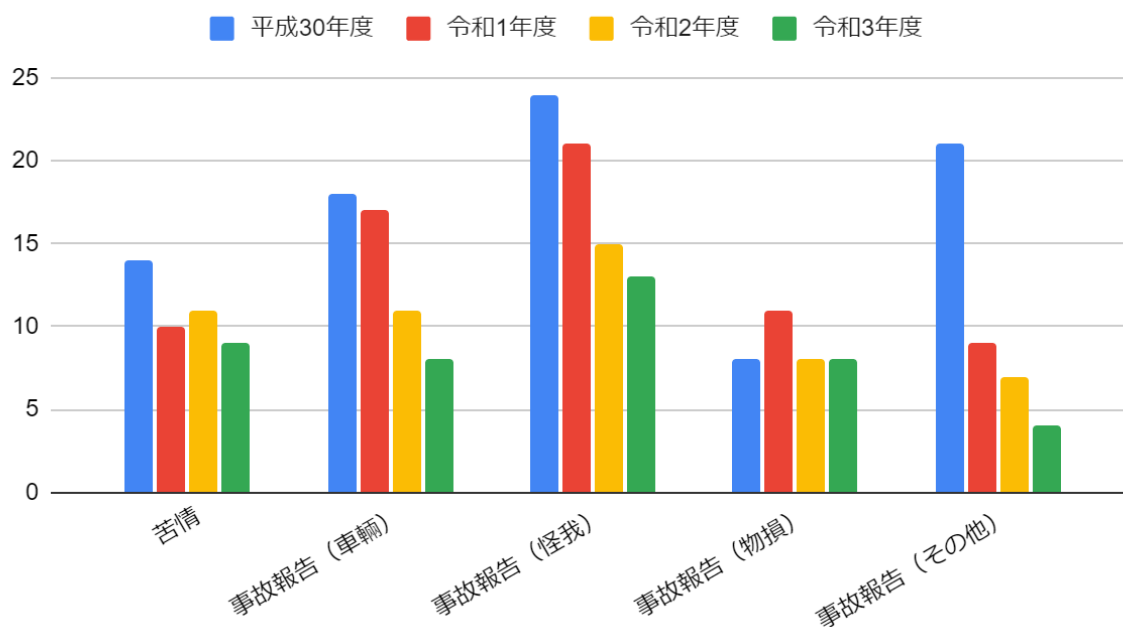
開催日	研修名	講師	対象
4月～3月	新人研修	管理職・主任	新卒・既卒採用者
4月～9月	階層別外部研修（えにし滋賀階層別研修）	えにし滋賀講師	対象者7名
5月	管理職研修（全2回）	管理職	管理職昇格者
5月7日	指導者研修	管理職	主任昇格者
5月	ハラスメント研修	厚労省動画	管理職・主任
6月～7月	安全衛生推進者養成講習	労働基準協会講師	管理職・担当者
6月	人権研修「障がいのある人の人権」（オンライン）	法務省動画	全職員
7月～8月	個人情報保護法の理解（オンライン）	IT顧問藤井氏	全職員
9月	考課者研修（オンライン）	インソース講師	管理職・所長
9月	階層別外部研修（えにし滋賀階層別研修）	えにし滋賀講師	管理職1名
11月	中堅職員研修（全1回）	主任	リーダー昇格者
11月～12月	先輩研修（2年目全2回・3年目全2回）	リーダー職員	2年目・3年目職員
12月	階層別外部研修（えにし滋賀階層別研修）	えにし滋賀講師	対象者1名
2月	アサーティブコミュニケーション研修（オンライン）	NPO法人アサーティブジャパン	全職員
2月	リスクマネージャー養成講座（オンライン）	全国社会福祉法人経営者協議会	主任2名・リーダー1名
2月	リスクマネージャー実践講座（オンライン）	全国社会福祉法人経営者協議会	主任1名
3月	個人情報研修	IT顧問藤井氏	管理職

◆苦情および事故発生

単位（件）

事業所名	第三者委員訪問日	苦情	事故 (車輛)	事故 (怪我)	事故 (物損)	事故 (その他)
事務局	—					
事務センター	—					1
わになろう	—		2	1		
ひまわり生活の家	—	2		2	1	
といろ	—			1	1	
虹	—	1				
コンパス	—	1				
ハーモニー	10月12日		2	2		
アイリス	10月7日		2			1
大地	—	1				
あんです	10月6日	1		1	1	2
だんだん	10月6日	3	1	3	4	
マーブル	10月7日		1	1		
ホップ	—				1	
計		9	8	11	8	4

苦情・事故の推移



事故 レベル分類

単位：(件)

	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5	レベル6
事務局						
事務センター			1			
わになろう		1	2			
ひまわり生活の家			1		2	
という		1	1			
虹						
コンパス						
ハーモニー			3		1	
アイリス			3			
大地						
あんです		2	1	1		
だんだん		1	6	1		
マーブル			2			
ホップ					1	
合計	0	5	20	2	4	0

事故レベル5以上の内容

事故レベル	事業所名	内容
5	ひまわり生活の家	2階の自室にて部屋の窓から外に飛び降り、病院に救急搬送され腰椎圧迫骨折と診断。固定等処置は無く痛み止めを処方された。
5	ひまわり生活の家	徒歩で外出中、体力がなくなり躓いて転倒し顔面を強打する。救急搬送され右頬ヒビと診断。右頬腫れ、左手の擦り傷あり。行動制限なく痛み止めを処方された。
5	ホップ	携帯電話を紛失し交換をする。
5	ハーモニー	身障トイレにて、トイレ介助中に足の痛みの訴えあり。レントゲン検査の結果、骨折との診断を受ける。(トイレ介助中に起こった事象かは不明)

※レベル説明

レベル1 (インシデントレベル)

レベル2 怪我 念のため通院、物損・車両・生産活動等 何らかの不具合を生じた

レベル3 怪我 通院が必要(縫合・固定処置無し)、物損・車両 修理必要・保険処理

レベル4 怪我 全治14日以内(見込み)の縫合や固定等の処置や入院の必要
車両・物損 相応の修理等必要、事務 苦情処理扱い

レベル5 怪我 全治14日以上(見込み)の治療や固定等の処置や入院の必要

車両 車両全損レベル、運転手・搭乗者の治療14日以上、物損 故障・廃棄等

◎第三者委員全体会

苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、令和3年度新たに3名の方に第三者委員を委嘱し利用者に周知しました。新たな体制のもと虹の会が提供する福祉サービス及び苦情の対応等が適切であったか等の検証および助言を受けるための環境を整えました。

コロナ禍ということもありましたが、10月に第三者委員による事業所訪問を実施しました。各委員には1か所でしたが事業所訪問を依頼、利用者の話を聞いてもらいました。また、虹の会が提供する福祉サービスにかかる苦情の対応が適切であったか助言を受けるため、また第三者委員との情報交換を行うため、第三者委員全体会を開催しました。

第三者委員より、人材確保と育成の大切さ、地域住民に対する障害理解について啓発することの重要性などの助言、特性に配慮した支援の提供や新型コロナウイルス感染症対策等の取り組みに対して評価を得ました。

回	開催日	内容
1回	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度下半期課題についての取り組み状況報告 各事業所訪問の報告 令和3年度上半期における苦情受付の検証及び意見交換

◆職員の状況（令和4年3月31日現在）

（1）人員表

	正職	嘱託	臨時	短時	アル	再雇用	合計	男性	女性
本部事務局	2			1			3	1	2
事務センター	3		1	2			6	2	4
わになろう	2	1	1	5			9	2	7
ひまわり生活の家	4			14		1	19	3	16
といろ	4	1	1	6			12	4	8
虹	1		2	1			4	1	3
コンパス（ホップ）	4	4		3		1	12	5	7
ハーモニー	7	2	1	8			18	4	14
アイリス	6		1	3			10	5	5
大地	3	1	3	2			9	5	4
あんです	2	1		5	2		10	1	9
だんだん	5	2		6	1		14	6	8
マーブル	2		1	1			4	0	4
計	45	12	11	57	3	2	130	39	91

◎障害者雇用率 3.24% 3名

（2）職員の状況

	正職員	非正職員
職員比率	35.7%（45/126人）	64.3%（81/126人）
平均勤続年数	10年3ヶ月	6年9ヶ月
平均年齢	41.24歳	56.20歳

※アルバイト3名、宿直職員（短時間）1名除く

(3) 時間外勤務の状況

	正職員	非正職員
令和元年度月平均時間外勤務	7.3時間	2.1時間
令和2年度月平均時間外勤務	6.2時間	1.2時間
令和3年度月平均時間外勤務	6.2時間	0.7時間

(4) 有休取得の状況

	正職員	非正職員
令和2年度平均取得率	76.2%	86.1%
令和3年度平均取得率	75.4%	90.8%

※年度付与数に対する取得率（最大20日付与）

(5) 新卒採用活動の状況

	採用者数
令和元年度	3名
令和2年度	1名
令和3年度	3名

NIJINOKAI COLOR



虹の会について
社会福祉法人虹の会の法人理念、法人概要などを掲載しています。



情報公開
中期経営計画、事業計画書、事業報告書、予算書、決算書、定款、役員情報などを公開しています。



地域とともに
滋賀県湖西の高島市での暮らしと福祉の充実を、地域とともに虹の会は歩んでいます。



事業所・サービス
滋賀県高島市内に10事業所あり、様々な特色ある事業やサービスをご提供しています。



虹の会のシゴト
虹の会で働く職員の日々の仕事について掲載しています。



採用情報
虹の会で働く情報、インターンシップ情報など採用に関する情報を掲載しています。

◆事業所の状況（令和4年3月31日現在）

事業所名	年度	定員 (名)	契約者数 (名)	平均年齢 (歳)	平均区分	平均稼働率 (%)
ひまわり生活 の家	令和元年	38	33	48.8	3.4	85.8
	令和2年	38	30	50.0	3.4	75.8
	令和3年	32	24	46.7	3.1	69.8
といろ	令和3年	10	10	57.5	4.7	98.4
短期入所といろ	令和3年	2	25	32.8	5	56.5
ハーモニー	令和元年	20	27	41.3	5.2	106.5
	令和2年	20	26	41.4	5.3	98.5
	令和3年	20	25	42.9	5.4	98.5
アイリス	令和元年	34	37	40.7	—	92.6
	令和2年	34	33	40.8	—	90.3
	令和3年	34	33	41.57	—	86.1
大地 (生活介護)	令和2年	20	25	40.10	3.8	120.5
	令和3年	20	26	40.73	3.8	117.4
ドリーム あんです	令和元年	20	23	39.11	—	82.0
	令和2年	20	20	40.5	—	81.5
	令和3年	20	19	42.4	—	79
ドリーム だんだん	令和元年	28	39	45.0	4.1	108.6
	令和2年	28	37	44.11	4.2	100.7
	令和3年	28	37	45.7	4.2	102.9
マーブル	令和元年	20	15	45.1	—	61.2
	令和2年	20	16	44.1	—	64.0
	令和3年	20	16	45.0	—	65.4

◆就労支援事業等の状況（令和4年3月31日現在）

事業所名	年度	契約者数 (名)	就労支援事業収入 (円)	平均工賃 (円)
アイリス	令和元年	37	11,074,021	13,675
	令和2年	33	10,222,133	15,690
	令和3年	33	10,040,139	15,980
ドリーム あんです	令和元年	23	39,967,769	25,690
	令和2年	20	26,591,920	22,940
	令和3年	19	31,646,797	23,093
マーブル	令和元年	16	8,840,054	45,532
	令和2年	16	3,549,670	18,669
	令和3年	16	5,483,682	27,634
ドリーム だんだん	令和元年	39	2,778,342	4,409
	令和2年	37	2,443,999	5,302
	令和3年	37	2,316,458	3,757
大地 (生活介護)	令和元年	24	4,068,981	B型11,644 生活介護7,245
	令和2年	25	4,144,317	8,658
	令和3年	26	4,451,866	8,366

◆地域における公益的な取組の状況

地域における公益的な取組事業	実施内容
はたらく体験	体験メニューは、農作業や厨房の食洗作業、内職（木工）、広報誌の発送準備作業等で、主に、ひきこもりの人の社会参加を目的として通年で実施しました。述べ体験回数は137回、実人数は11名でした。
虹カフェ	平日の9：00～17：00、誰もが安心して過ごせる社会的居場所として通年で運営しました。延べ利用者数は722名、実人数は38名でした。

◎話題提供および視察研修の受け入れ状況

※外部研修での話題提供、および視察研修の受け入れはありませんでした。

◆財務ハイライト

(単位：円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
就労支援事業収益	65,029,685	43,907,806	50,645,154
障害福祉サービス等事業収益	553,964,844	543,815,439	569,659,451
人件費	383,976,905	379,979,499	392,101,520
事業費	59,609,185	61,777,943	61,106,802
事務費	41,683,139	39,195,657	34,820,369
サービス活動増減差額	44,336,085	45,786,049	53,207,394
経常増減差額	51,369,216	50,630,408	53,660,637

◆経営分析参考指標

指標銘	算式	指標の視点	参考指標 ※3	令和元 年度	令和2 年度	令和3 年度	
人件費率	$= (\text{人件費} \div \langle \text{※1} \rangle) \times 100$	費用合理性	66.1%	69.2%	69.8%	68.7%	
経費率			21.4%	18.3%	18.6%	16.8%	
	事業 費率		$= (\text{事業費} \div \langle \text{※1} \rangle) \times 100$	11.3	10.7%	11.4%	10.7%
	事務 費率		$= (\text{事務費} \div \langle \text{※1} \rangle) \times 100$	10.1	7.5%	7.2%	6.1%
サービス活動収益対サービス活動増減差額比率 (営業利益率)	$= (\text{サービス活動増減差額} \div \text{サービス活動収益}) \times 100$	収益性 プラスである こと	3.3%	7.1%	7.8%	8.6%	
経常収益対経常増減差額比率	$= (\text{経常増減差額} - \text{経常収益} \langle \text{※2} \rangle) \times 100$		3.9%	8.1%	8.9%	8.6%	
減価償却費率	$= (\text{減価償却費} + \text{国庫補助金等特別積立金取崩額} \langle \text{マイナス値} \rangle) \div \text{サービス活動収益} \times 100$	適正性	4.1%	3.6%	2.6%	4.3%	
流動比率	$= (\text{流動資産} \div \text{流動負債}) \times 100$	短期安定性 200%以上	301.9%	826.3%	368.2%	503.9%	
純資産比率	$= (\text{純資産} \div \text{資産の部合計}) \times 100$	長期持続性 高いほど良い	71.4%	93.9%	90.3%	92.5%	
固定長期適合率	$= (\text{固定資産} \div (\text{純資産} + \text{固定負債})) \times 100$	長期持続性 100%以下	85.4%	76.9%	79.5%	80.7%	
経常増減差額率 (経常利益率)	$= (\text{経常増減差額} \div \text{サービス活動収益}) \times 100$	収益性 プラスである こと	—	8.3%	8.6%	8.6%	
事業活動資金収支差額率	$= (\text{事業活動資金収支差額} \div \text{事業活動収入}) \times 100$		—	11.2%	11.0%	13.4%	

※1 サービス活動収益計－就労支援事業収益

※2 経常収益＝サービス活動収益＋サービス活動外収益

※3 独立行政法人福祉医療機構 「2020年度社会福祉法人経営状況について」より、障害主体法人の経営状況を参照（流動比率・純資産比率・固定長期適合率除く）

◆各事業部からの報告

本部事務局

事務センター

第1通所事業部

(アイリス、マーブル、ハーモニー、大地)

第2通所事業部

(ドリーム・あんです、ドリーム・だんだん)

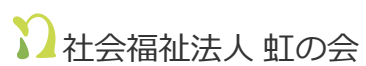
生活支援事業部

(ひまわり生活の家、といろ、わになろう、計画相談支援センター虹)

相談支援事業部

(高島市障がい者相談支援センターコンパス、就労準備支援事業ホップ)

令和3年度事業報告書（案）



〒520-1521 滋賀県高島市新旭町北畑45番地

電話 0740(25)8220 FAX 0740(25)8221

ホームページ <http://www.shiganijinokai.net>

メールアドレス info@shiganijinokai.net